

クロイツフェルト・ヤコブ病発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項（同条第 10 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日（令和 年 月 日）

医師の氏名 _____

所属する病院・診療所等施設名 _____

上記施設の住所・電話番号* _____（電話 _____）

（* 所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること）

1 診断（検案）した者（死体）の種類			
・ 患者（確定例） ・ 感染症死亡者の死体			
2 性別	男 ・ 女	6 症 状	ア. 進行性認知症 （ 年 月より） イ. ミオクローヌス （ 年 月より） ウ. 錐体路症状 （ 年 月より） エ. 錐体外路症状 （ 年 月より） オ. 小脳症状 （ 年 月より） カ. 視覚異常 （ 年 月より） キ. 無動性無言状態 （ 年 月より） ク. 記憶障害 （ 年 月より） ケ. 精神・知能障害 （ 年 月より） コ. 臨牀的に頑固な不眠 （ 年 月より） サ. 異常感覚 （ 年 月より） シ. 痙性対麻痺 （ 年 月より） ス. 筋強剛 （ 年 月より） セ. その他（ ）（ 年 月より）
3 診断時の年齢	歳		
4 病 型	1) 孤発性プリオン病 (a) 古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) (b) その他 2) 遺伝性プリオン病 (a) ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病(GSS) (b) 家族性CJD (c) 家族性致死性不眠症(FFI) 3) 感染性プリオン病 (a) 医原性CJD (b) 変異型CJD		
診断の確実度（7. 確実 4. ほぼ確実 5. 疑い）			
5 診 断 方 法	1) 病原体診断（異常プリオン蛋白の検出） 部位 (1) 脳 (2) 扁桃 (3) その他の臓器 方法 (1) Western Blot法 (2) 免疫染色法 異常プリオン蛋白の沈着型 (1) 73kDa型 (2) 21kDa型 (3) その他 2) プリオン蛋白遺伝子検査 (1) コドン（ ）の異常 (2) コドン 129 の多型 (7. M/M 4. M/V 5. V/V) (3) コドン 219 の多型 (7. E/E 4. E/K 5. K/K) (4) その他（ ） 3) 臨床症候 4) 家族歴 5) 検査 (1) 脳波(PSD) (2) 脳MRI (3) 14-3-3蛋白 (4) その他 6) その他（ ） (該当するものすべてに記載すること)	7 初診年月日	令和 年 月 日
		8 診断（検案(※)）年月日	令和 年 月 日
		9 感染したと推定される年月日	令和 年 月 日
		10 発病年月日（*）	令和 年 月 日
	11 死亡年月日（※）	令和 年 月 日	
12 感染原因・感染経路・感染地域 (感染性プリオン病の場合のみ記載)		①感染原因・感染経路（推定される感染年月日） 1) ヒト乾燥硬膜（ 年 月 日） 2) ヒト下垂体由来成長ホルモン製剤（ 年 月 日） 3) 角膜手術（ 年 月 日） 4) 手術等観血的処置（ 年 月 日） [種類 _____] 5) 輸血等（ 年 月 日） 6) その他[_____]（ 年 月 日） ②感染地域（ 確定 ・ 推定 ） 1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外（ 国、 詳細地域： _____ ）	

（1、2、4から6、12 欄は該当する番号等を○で囲み、3、7から11 欄は年齢・年月日を記入すること。(※) 欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。(*) 欄は、患者を診断した場合のみ記入すること）

この届出は診断から7日以内に行ってください